

頰部伝達麻酔下に肩甲帯の手術を受ける患者さんへ






患者様用

患者氏名 :

様

受持医署名 :

受持看護師署名 :

月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術前日まで	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日以降
達成目標		手術に安全に望むことができる	手術後、呼吸・血圧等が安定している 手術後、安静を守ることができる 手術後、創痛・出血がコントロールできる	手術後、呼吸・血圧等が安定している 手術後、安静を守ることができる 手術後、創痛・出血がコントロールできる	今後の治療方針に関する相談を行う
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ		手術室で点滴を行います		食事の量に応じて点滴を行います。午前・午後に抗生物質の点滴を行います。薬剤師の服薬指導があります。	食事の量に応じて点滴を行います。午前・午後に抗生物質の点滴を行います。
処置		下肢にストッキングを着用し、検査着に着替えます		創傷からの出血が多い場合のみ、ガーゼ交換を行います。	ガーゼ交換を行います。
検査			必要な場合に血液検査を行います。		
活動安静度		入院時と同様です。	ベッド上で安静にさせていただきます。	患者さんの状態、行った手術、創の状態によって総合的に判断します。主治医、看護師の指示に従ってください。	
食事		飲んだり食べたりできません 		担当医の許可が下りれば、食事を取っていただけます。	
清潔				清拭(体を拭くこと)を行います	(出血が収まって)フィルムの創傷被覆材となっていればシャワーをしていただいて結構です。
排泄				患者さんの状態に合わせて、車椅子/歩行器/杖等でトイレに行きます。	
患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ栄養指導服薬指導			 担当医から手術結果の説明があります。		退院をして、通院で経過をみせていただくか、入院でリハビリテーションを進めるかについて主治医から説明があります。

大津赤十字病院

整形外科

科 201208改訂

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。